

新刊案内

どの本読もうかな？

昭和中学校 2023/6/27

今回の新刊は、第69回読書感想文コンクールの課題図書と岡山県の指定図書が中心です。読んでみてどの本で感想文を書くか考えてみてください。

読書感想文コンクール 課題図書

○「スクラッチ」 歌代 朔



コロナ禍であらゆるものが延期や中止になった中三の夏。バレー部のキャプテン・鈴音は、県の総体がなくなり吠えていた。黒く塗りつぶされた日常に、それぞれの方法で向き合う夏が始まる。

○「アップステージ シャイなわたしが舞台に立つまで」



ダイアナ・ハーモン・アシャー

人前に出て目立つのがとにかく苦手なシーラ。でも、心の中にはミュージカルに出演したいという気持ちもある。オーディションの結果、シーラが演じることになった役は……。ユニークなメンバーと作り上げる、舞台本番までの物語。

○「人がつくった川・荒川」 長谷川 敦



江戸時代から今まで流れ続けている東京・荒川の歴史。名前は同じでも実は過去に二度、それは大きく流れが変わっているのです。人の暮らしに寄り添い、現在は水害との付き合い方をも考えた形になった荒川のことを知ってください。

読書感想文コンクール 岡山県指定図書

○「笹森くんのスカート」 神戸 遥真



二学期初日の教室では、困惑混じりの空気が広がっている。身長180cmの爽やかなイケメンである笹森くんが、学校指定のスカートを穿いてきていたからだ。周囲の皆がそれぞれ抱える悩みとともに、文化祭の準備は進んでいく。

○「長い長い夜」 ルリ：作・絵 カン・バンファ：訳



サイとペンギンが荒野を歩いている。ペンギンは、その口に小さくていびつなバケツをくわえて。中には、黒い斑点のあるたまごが一つ。たった一つのたまごにそのすべてをかけた、三匹の動物たちの物語。

○「コレラを防いだ男 関寛斎」 柳原 三佳



時は幕末、銚子で西洋式の医学で治療をしていた男の元へ「コレラ流行」の報せが届いた。男の名は関寛斎。「江戸の台所」と呼ばれる銚子で流行を食い止め、江戸の人々の暮らしと命を守るため、感染症との戦いに挑む！

小説

○「月の立つ林で」 青山 美智子

○「きみの話を聞かせてくれよ」 村上 雅郁

○「夏休みの空欄探し」 似鳥 鶏

○「文豪の探偵小説」 山前 譲：編

